



ノートをとってみよう！

「コミュニケーション学概論」という講義の様子です。実際にどんなふう
にノートをとったらいいか、見てみましょう。

先生が話した内容

はい、じゃあ、始めましょう。先週配ったプリントは持っていますか？
先週は、切り口によってコミュニケーションがいろいろに分類できることを
確認しましたが、今日はまず、改めて、広い意味でコミュニケーションとは
何か、どういうふうに定義できるのか、というあたりから話を始めていき
たいと思います。

コミュニケーションとは？ と聞いて、ぱっと思い浮かぶのは、伝えると
いう機能ではないでしょうか。けれども、コミュニケーションはそれだけじ
ゃない。伝えたとどうなるか、ということまで視野に入っている。人に何
かを伝えたら、その人とその何かを分かち合うことができます。何かを**伝達
し、共有する**。でも一体、何をでしょう？

受け渡しされるのは情報です。それらの情報は、心理的に意味のあるメッ
セージであり、感情…思考…知覚、といったものを含んでいます。

それじゃあ、そういった情報はどのようにして伝えられるのかという
まさに今、私がしているように、言葉を使って、ということがまず考えられ
ます。けれども、必ずしも言葉にしないと感情や思考や知覚は伝わらないか、
といったらそうでもない。動物は、人間のような言葉は話さないけれども、
コミュニケーションしながら生きていますよね。そうすると人間も、言葉以
外の部分でコミュニケーションをしていることも、実は多いことに気づくで
しょう。

先生の板書とノートが
全然違うことを確認しよう。

先生の板書



何かを伝達し、共有する

ノートの例

コミュニケーション学概論 第2回 (4/18)

あとで整理しやすいよう、
日付を書いておこう。

コミュニケーション学概論 4/18 配付
○○コミュニケーション
・バーバル
・ノンバーバル
先週配られたプリント

コミュニケーション学概論 第2回 (4/18)

コミュニケーションとは？
伝える → 伝達
わかちあう → 共有
何を？ ⇒ 情報…感情、思考、知覚
言葉？

